

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和 4年 9月 1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株木建設株式会社
所 在 地	茨城県水戸市吉沢町 311 番地 1
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 株木 康吉
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-3984-4172 (担当：廣瀬)
	メー ル：hirose.m@kabuki.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.kabuki.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は1921（大正10）年4月に創業した総合建設業者であり、全国の海上土木工事、浚渫・埋立工事の請負事業を実施している。

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	建設工事に伴う騒音・振動、水質・大気汚染等の環境負荷を低減する。	環境負荷が起因する苦情発生件数 【現状】1 件/年間 【目標】0 件/年間
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT を活用した省力化と遠隔化による業務の合理化を図り、週休 2 日（4 週 8 閉所）を達成する。	週休 2 日（4 週 8 閉所）達成率 【現状】達成率 49% 【目標】達成率 100%
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8							
11	環境	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1	
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・建設事業の実施に伴うCO2排出量を、(一社)日本建設業連合会の算出基準に準じて定量的に把握し、削減目標量を提示して対応している。 ・業務で使用する乗用車は、全てハイブリッド車を使用している。							7.2 7.3						12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・(公財)日本野鳥の会に協賛し、生態系の保全に努めている。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証を受け、環境マネジメントシステムの外部審査機関((株)マネジメントシステム評価センター)の審査を受けて認証されている。(登録番号: MSA-ES-476)			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・環境報告書を作成し、公表している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・現場仮設事務所の屋根に太陽光発電パネルを設置し、発電した電気を蓄電して室内の照明用電力として活用している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証を受け、環境マネジメントシステムの外部審査機関((株)マネジメントシステム評価センター)の審査を受けて認証されている。(登録番号: MSA-QS-2774) ・弊社独自KCS(カブキ・コンストラクション・システム)改善活動を実施している。具体的な取り組みは、建設現場の問題点と異常をアンドンと呼ばれるシグナルで見える化し、問題発生時には全社的な改善活動を実施している。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・地域の風水害発生時の復旧作業に使用する資機材を本支店に備えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・建設工事に伴う騒音・振動、濁水、排気ガス等のリスクの特定と評価を実施し、環境負荷の低減策を工事検討会等で管理部署が指導している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・定期的に海岸清掃等のボランティアに参加している。(千葉県千葉ポートパーク、神奈川県馬堀海岸、宮城県仙台塩釜港等)				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を明文化し、共有している。								8	9								17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・社内イントラネット掲示板及びコンプライアンスマニュアル等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・責任者を明確にして体制を管理している。																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																	16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・建設工事の着手前に工事検討会を開催し、施工方法及び安全対策、環境負荷の低減対策が法令に適合しているかの審査を実施している。																16	
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・(一社)日本埋立浚渫協会のBCP部会に参加して情報を共有し、事業継続計画を策定している。 ・社内の緊急時連絡体制を構築して対応している。									9		11		13.1			16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

令和 5 年 9 月 14 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都豊島区高田三丁目 3 1 番地 5
名称：	株木建設株式会社
代表者：	株木 康吉
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓ 環境 □ 社会 ✓ 経済	建設工事に伴う騒音・振動、水質・大気汚染等の環境負荷を低減する。	環境負荷が起因する 苦情発生件数 0 件/年間	環境負荷に関する苦情発生件数：0 件（100%）
□ 環境 ✓ 社会 ✓ 経済	ICT を活用した省力化と遠隔化による業務の合理化を図り、週休 2 日（4 週 8 閉所）を達成する。	週休 2 日（4 週 8 閉所） 達成率 100%	週休 2 日（4 週 8 閉所） 達成率 60%
□ 環境 □ 社会 □ 経済			

令和 6 年 10 月 1 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	茨城県水戸市吉沢町 311 番地 1
名称：	株木建設株式会社
代表者：	株木 康吉
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	建設工事に伴う騒音・振動、水質・大気汚染等の環境負荷を低減する。	環境負荷が起因する苦情発生件数 0 件/年間	環境負荷に関する苦情発生件数：0 件（100%）
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT を活用した省力化と遠隔化による業務の合理化を図り、週休 2 日（4 週 8 閉所）を達成する。	週休 2 日（4 週 8 閉所）達成率 100%	週休 2 日（4 週 8 閉所）達成率 69%
□環境 □社会 □経済			

令和 7 年 11 月 4 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	茨城県水戸市吉沢町 311 番地 1
名称：	株木建設株式会社
代表者：	株木 康吉
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	建設工事に伴う騒音・振動、水質・大気汚染等の環境負荷を低減する。	環境負荷が起因する苦情発生件数 0 件/年間	環境負荷に関する苦情発生件数：0 件（100%）
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT を活用した省力化と遠隔化による業務の合理化を図り、週休 2 日（4 週 8 閉所）を達成する。	週休 2 日（4 週 8 閉所）達成率 100%	週休 2 日（4 週 8 閉所）達成率 78%
□環境 □社会 □経済			